

“小さな群れよ、恐れるな。あなたの父はよろこんで神の国をくださる”（ルカ 12-23）

カトリック美唄教会 ・ カトリック砂川教会 教会だより

小さな群れ

2026年 2月
2026年1月25日発行
主任司祭 ナルチゾ・カヴァッツォラ

ホームページ <https://caterina.sakura.ne.jp>

2月は、主の奉献、福者ユスト高山右近殉教者、
日本 26 聖人殉教者、そして、典礼的には任意の日
ですが、全世界からキリスト者だけではなく、心身
の“いやし”を求めて巡礼する「ルルドの聖母」と



過ごしていきます。



11日は「世界病者の日」です。聖ヨハネ・パウロ2世が世界病者
の日を制定したのは、神の民、カトリック医療施設、そして市民社会
が、病者と彼らのケアにあたる人々の支援の必要性への認識を高め
るためでした。

18日の灰の水曜日から復活祭を準備する「四旬節」に入ります。

灰の水曜日は、週日ですが、あらゆる他の祭典に優先される日です。

この季節、教会が私たちに典礼を通じて提供する神のみ言葉は、非常に豊かなものです。

ぜひ、み言葉に養われる四旬節でありますように。

そして、この期間に忘れてならないのは、洗礼志願者のことです。各教会の洗礼志願者
のために特別に祈り、同時に、自らの洗礼の約束を更新する時ともいたしましょう。

（参考 Laudate）

砂川教会 お知らせ

砂川市東5条南3丁目3-1 TEL 0125-52-4617 FAX 0125-52-4618

2026年2月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	担当
1	日	年間第4主日 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日 P.4 平和を願う	9:00 ミサ 先読み：高塚 第1：久保 第2：三上朋 答唱詩篇：三上夫妻 オルガン：能村
8	日	年間第5主日 司祭と召し出しを求めるために祈る日	9:00 ミサ 先読み：多田 第1：西川 第2：木下 答唱詩篇：間野・安藤 オルガン：能村
15	日	年間第6主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み：高塚 第1：本田 第2：間野 答唱詩篇：三上夫妻 オルガン：木下
18	水	灰の水曜日 大斎・小斎	18:00 ミサ
22	日	四旬節第1主日 教会から離れた信者のための祈る日	9:00 ミサ 先読み：多田 第1：高塚 第2：西川 答唱詩篇：多田・木下 オルガン：能村
◆平日のミサ 月曜日～金曜日 17:00 土曜日 10:00			

◆今月の霊名記念日の方 . . . おめでとうございます（敬称略）

今月はありません

◆お知らせ

- ・灰の儀式に使用するため、家庭に保管しているしゅろの葉を15日までにお持ち下さい。
- ・毎週水曜日10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

◆幼稚園関連

18日(水) 保育参観日
19日(木) 保育参観日
25日(水) 2月生まれの誕生会

砂川 花当番	
7日(土)	木下
14日(土)	多比良





美唄教会 2026 年 2月 主日ミサ・平日のミサ予定

美唄市東2条南3丁目2-10 TEL&FAX 0126-63-2434

美唄教会 小さな群れ
通巻No.345
2026 年 2月
2026 年 1月 25 日発行

・主日ミサ 朝の祈り ； 召命を求める祈り (22 日(日)から十字架の道行)

日	曜	ミ サ		各種勉強会	会議・その他事項
		主日・祭日	時 間		
1	日	年間第4主日	午前 11:00		
2	月	主の奉献(祝)			
6	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
8	日	年間第5主日	午前 11:00		ミサ後 運営委員会
11	水	ルルドの聖母(記)			世界病者の日
13	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
15	日	年間第6主日	午前 11:00		
18	水	灰の水曜日	美唄でのミサなし		砂川教会 18時より
20	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	
22	日	四旬節第1主日	午前 11:00		
27	金		午前 10:30	聖書に親しむ(ミサ後)	

《 平日のミサ 》 金曜日のみ 午前 10:30 6・13・20・27日です
《 聖書に親しむ 》 平日のミサ後、旧約聖書に親しんでみませんか。

霊名の祝日(敬省略)	清掃当番
21 日 ドロウテイア 有ノ木 幸	<第1週> 東 <第2週> 幼稚園 <第3週> 船野 <第4週> ウケットウ
	花当番
	船野

【お知らせ】

- 8日(日) ミサの中で病者の塗油を行います。
- 15日(日) 前年の枝(しゅろの葉)をご持参ください。
灰を作り、22 日ミサ中に灰の式を行います。
- 22 日(日)より 主日ミサ前 10:30 より、十字架の道行を行います。
- 幼稚園の予定
 - 3 日(火) 豆まき(自由参観)
 - 10 日(火) 人形劇鑑賞会
 - 17 日(火) 卒園感謝の祈り(聖堂使用)
 - 24 日(火) 誕生会(聖堂使用)

四旬節について

金曜日のミサ後に聖書に親しむ会で四旬節について学びました。主日の説教などで、神父様から沢山聞いてきています。この日の資料から抜粋したのですが、分かち合いたいと思い、書きました。
(記：美唄教会 大城)



四旬節のポイントは

- ① 祈り
- ② 断食
- ③ ほどこし です。

〔四旬節の起源〕

「40」という数字は、旧約聖書の中で特別な準備期間を示す数字であった。例えば、モーセは民を率いて40年荒野を彷徨っている(民数記14-33 創世記7.1-17 ノアの箱舟の40日間)。ヨナはニネヴェの人々に40日以内に改心しなければ、街は滅びると預言した(ヨナ記3.4-6)。イエスは、公生活を前に40日間荒野で過ごし、断食した(マタイ4.1-11)。

四旬節の40日間は、そのような伝統に従い、キリスト教徒にとってはイエスに倣うという意義のある準備期間となっている。元は初代教会で復活祭を前に行っていた「40時間」の断食のことであった。復活徹夜祭には、成人の洗礼を行うのが初代教会以来の慣習であり、受洗者たちも初聖体に備えて40時間断食を行っていた。

四旬節は本来、復活祭に洗礼を受ける求道者の為に設けられた期間であった。

4世紀に入って、ミラノ勅令によりキリスト教が公認されると、受洗者の数が激増して一人ひとりに対しての十分な準備が行き届かなくなった為、従来は求道者のみに課していた復活祭前の節制の期間を、全教徒に対して求めるようになった。これが四旬節の起源である。

〔四旬節の慣習〕

四旬節では、伝統的に食事の節制と祝宴の自粛が行われ、償いの業が奨励されてきた。四旬節の節制は伝統的に、祈り、断食、ほどこしの3点を通じた悔い改めの表明と解される。現在も、神に対しての祈り、自分自身に対しての節制、更に他人に対するほどこしの3つが四旬節の精神として教えられており、娯楽の自粛や慈善活動への積極的な参加を行う信徒もある。